

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	更新年月日（1回目）	直近の更新年月日
猪苗代町	松橋・松橋浜地区 （松橋集落・松橋浜集落）	令和3年1月22日	令和 年 月 日	令和 年 月 日

## 1 対象地区の現状

① 地区内の耕地面積	41.9 ha
② アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者または耕作者の耕作面積の合計	33.2 ha
③ 地区内における70歳以上の農業者の耕作面積の合計	9.7 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	9.4 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.3 ha
④ 地区内において今後中心経営体を引き受ける意向のある耕作面積の合計	6.5 ha
（備考） 生産コストの低減を図りながら、現状を維持した営農に取り組む。	

注 1 : ③の「70歳以上」には、地域の実情に応じて、5～10年後の農地利用を議論する上で適切な年齢を記載します。

注 2 : ④の面積は、下記の「（参考）中心経営体」の「今後の農地の引受けの意向」欄の「経営面積」の合計から「現状」欄の合計を差し引いた面積を記載します。

注 3 : アンケート等により、農地中間管理機構の活用や基盤整備の実施、作物生産や鳥獣被害防止対策、災害対策等に関する意向を把握した場合には、備考欄に地区の現状に関するデータとして記載してください。

注 4 : プランには、話合いに活用した地図を添付してください。

## 2 対象地区の課題

<p>近年、地域内においては若年層での農業従事者が減少している。このことから、今後は地域内の農業従事者の高齢化が進行し農業後継者の不足が見込まれ、将来的には地域内の営農の維持が困難になる恐れが懸念される。</p> <p>今後は農地の集約化や後継者・新規就農者の確保を検討しながら、地域内の営農環境を協議する必要がある。</p>
---

: 「課題」欄には、「現状」を基に話合いを通じて提示された課題を記載してください。

### 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

農地利用は基本として松橋・松橋浜集落の中心経営体と農業者が担う。
状況によっては認定新規就農者の受け入れを促進する。
農地所有者は、原則として営農改善組合に相談を行なった上で福島県農業振興公社や農業委員会を活用し農地を貸し付け、農地の借り受けを行う。

注 1 : 中心経営体への農地の集約化に関する将来方針は、対象地区を原則として集落ごとに細分化して作成することを想定していますが、その「集落」の範囲は、地域の実情に応じて柔軟に設定してください。

注 2 : 「中心経営体」には、認定農業者、認定新規就農者、経営所得安定対策の対象となる法人化や農地の利用集積を行うことが確実と市町村が判断する集落営農及び市町村の基本構想に示す目標とする所得水準を達成している経営体等が位置付けられます。

#### 4 3の方針を実現するために必要な取り組みに関する方針（任意記載事項）

（農地中間管理機構の活用方針）

将来的には経営農地の集約化を目指し、農地所有者は人・農地プランを参考に営農改善組合に相談を行った上で、農地中間管理事業を積極的に活用する。

（地域内の農地等の保全への取組方針）

地域内の農地等の保全については、中心経営体だけではなく、地域の農業者、土地の所有者一体となって保全に取り組む。

（新規作物の導入方針）

米、そば等の土地利用型作物以外に、収益性の高い園芸作物の生産を目指す。

（新規就農者等の確保）

基本的に地域の農地は中心経営体等への集約を目指す。新規就農希望者等の相談があった際には、積極的に受け入れを行い、集落で支援・協力を行う。

（話し合いの機会）

農協の座談会や多面的の事業、地域内の集まりの際には、こまめに農地の利用に関しての話し合いを行う。